

## 耐えられない試練はない

コリント人への手紙第一 10章 13節

### はじめに

今日は、神様が私たち人間に与える「試練」について、一緒に考えていきたいと思えます。

今読んだ聖書の言葉は、多くの人に愛されている有名な言葉で、クリスチャンに限らず、多くの方々に深い慰めを与える聖書の言葉だと思います。

### 1. 「試練」とは

聖書全体を見ると、確かに神様は、私たち人間に、しばしば「試練」を与える方、「試み」を与える方、また私たち人間を「試される」方と教えられています。では、神様は私たちに、どんな目的をもって「試練」を与えられるのでしょうか。それは、私たちをより強く、成長させるためです。

神様が私たちに与える「試練」は、「神様の愛」から出ています。神様は、私たちを愛するゆえに、また私たちを「しあわせ」にするために、私たちに「試練」を与られると聖書は言います。神様は、荒野を旅したイスラエルの民に対して、このように言われました。「**主は、あなたをエジプトの地、奴隸の家から連れ出し、燃える蛇やさそりのいるあの大きな恐ろしい荒野、水のない、かわききった地を通らせ、堅い岩から、あなたのために水を流れ出させ、あなたの先祖たちの知らなかったマナを、荒野であなたに食べさせられた。それは、あなたを苦しめ、あなたを試み、ついには、あなたをしあわせにするためであった**」(申命記 8:14-16)。神様は、イスラエルの民を「しあわせ」にするために、あの苦しい荒野の旅をさせ、試みられたと言います。神様が与える試練は、私たちにとっては、時に苦しく、悲しいものですが、それは、神様が私たちを「しあわせ」にするために与えるものだと聖書は言うのです。

### 2. 神は、耐えられないような試練に会わせない

今日の聖書箇所には、私たちに「試練」を与える神様はどのような方であるのか、また神様が私たちに与えられる「試練」とはどのような性質のものかということが書かれています。

まず第一に、ここでは、「**あなたがたが経験した試練はみな、人の知らないものではありません**」とあります。神様が私たちに与える「試練」は、「人の知らないものではない」と聖書は言います。それはつまり、「人間の力以上のものではない」「人間に耐えられないものではない

い」ということです。

**「神は真実な方です。あなたがたを耐えられない試練にあわせることはなさいません」ともありません。**神様は私たちに、「耐えられない試練」を与えることはないのです。私たちの「力以上の試練」を与えることはないのです。

私たちは「試練」の真っ只中にいる時には、自分には到底「耐えられない」と感じます。「試練」の真っ只中にいる時には、「もうダメかもしれない」と感じる「悲しみ」や「苦しき」が私たちに次から次へと襲ってきます。

しかし神様は、私たちに「耐えられない」「もうダメかもしれない」と感じるような「悲しみ」や「苦しき」を与えますけれども、私たちが実際に「耐えられない」もの、実際に私たちの「力以上」のものは決して与えないと聖書は言うのです。

神様は、私たちが「耐えられる力」を持っているからこそ、「試練」を与えられるのです。神様は「試練」を通して、私たちが自分でもまだ気付いていないような、私たちの内にある「耐える力」を存分に引き出して、私たちをひと回りもふた回りも成長させようとしているのではないのでしょうか。

聖書には、このような言葉があります。**「私の兄弟たち。様々な試練にあうときはいつでも、この上もない喜びと思いなさい。あなたがたが知っているとおりに、信仰が試されると忍耐が生まれます。その忍耐を完全に働かせなさい。そうすれば、あなたがたは何一つ欠けたところのない、成熟した、完全な者となります」**(ヤコブ 1:2-4)。

神様は私たちに、ちょっと「重い」「潰れそうだ」と思うような荷物を背負わせます。そして、それによって私たちに背負う「力」を身に付けさせ、さらにもっと「重い」荷物を背負えるように、私たちを強くし、成長させようとしているのではないのでしょうか。

それはまるで、筋肉トレーニングのようです（私はできるだけ週に一度は、ジムに行くようにしています）。器具を使った筋肉トレーニングでは、重い負荷（何キロかの）をかけます。「ちょっと重いなあ」と感じる負荷をかけて、何回か持ち上げるのです。それによって、筋肉痛などになるのですが、結果的にはさらに重いものを持ち上げることができるように力がついていくのです。

同じように神様も、私たちが「耐えられそうにない」「もうダメかもしれない」と思う、「ちょっと重いなあ」「無理かもしれない」と感じる試練を私たちに与えて、私たちに試練に耐える筋肉を付けさせ、私たちがさらなる困難を乗り越える力を与えようとしているのではないのでしょうか。

救世軍の山室軍平という人は、かつてこのように言ったそうです。**「母親が赤ん坊を入浴させる時、あらかじめ湯加減をみて、ちょうどよいくらいであると思わなければ、赤ん坊を湯の中に入れない。それと同じように、神は試みにあわせる前に、あらかじめその加減を見はからい、ちょうどよいくらいだと見きわめた後でなければ、試みにあわせない」**。

私たちは神様を、父なる神と呼びます。イエス様を神と信じ、自分の救い主と信じる人は誰でも、神様の子どもとされます（ヨハネ 1：12）。神様は私たちを、子どもとして愛してくださいます。大切な存在として扱ってくださいます。私たちの「父」である神様は、子どもである私たちが「耐えられない」ような、「潰れてしまう」ような、「壊れてしまう」ような、私たちの「力以上」の「試練」を与えることは決してないと聖書は言います。私たちが「耐えることができる」、また私たちが成長できるようなちょうど良いものを与え、それによって「力」を付けさせ、私たちを強め、成長させようとしておられるのです。

### **3. 神は、試練とともに脱出の道も備えてくださる**

またもう一つ今日の聖書の言葉には、神様は「**試練とともに脱出の道も備えていてくださいます**」とあります。ここでの「脱出の道」という言葉は、「逃れる道」とも訳されることがありますけれども、もともとは「出口」あるいは「終わり」という意味の言葉です。

ここで言われていることは、試練の途中での逃げ道が用意されているというのではなく、試練には必ず「終わり」がある、「終わらない試練はない」ということが言われているのです。

神様は私たちに「耐える」ことを求めておられます。そして私たちに「耐える力」を与えて、私たちを強め、成長させようとしておられるのです。ですから神様は、安易な逃げ道を用意されているわけではありません。試練と向き合わずに、すぐに逃げ出すことを求めておられるわけではありません。そうではなくて、試練には必ず「終わり」がある、耐え抜いた先に、必ず「出口」があるという希望を語っておられるのです。

私たちは、試練の真っ只中にいる時には、先が見えない長いトンネルを歩かされているような感覚に襲われます。私たちが試練を与えられるということは、先が見えない長いトンネルの中で、重い荷物を背負わされているようなものです。しかし神様は、そこには「出口」が必ずある、その長いトンネルの先には、希望の光へと続く「出口」が必ずある、と語っておられるのです。

神様が私たちに、終わりのない、出口のない「試練」を与えられることは決してありません。神様は、必ず「出口」と「終わり」を備えてくださっているのです。

### **おわりに**

では私たちは、試練の真っ只中にいる時、「耐えられない」「もうダメかもしれない」と思えるような「悲しみ」や「苦しみ」の真っ只中にいる時、どのようなことが神様から求められているのでしょうか。

今日の御言葉には、「**神は真実な方です**」とあります。この「真実な方です」という言葉は、「信頼できる方である」という意味の言葉です。神様は決して、私たちが「耐えられない」

ような、私たちの「力以上」の「試練」を与えることはなさない、神様は必ず、「出口」と「終わり」を備えてくださっていると「信頼する」ことです。

私たちにはもう一つ求められていることがあります。それは、救い主イエス様に目を向けることです。聖書には、このような言葉があります。「**イエスは、自ら試みを受けて苦しめられたからこそ、試みられている者たちを助けることができるのです**」(ヘブル 2:18)。また「**私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できない方ではありません。罪は犯しませんでした、すべての点において、私たちと同じように試みにあわれたのです**」(ヘブル 4:15)。

イエス様も、私たちと同じように試練を経験されました。いや私たち以上の試練を経験されました。イエス様が経験された試練は、私たちの罪を背負うために十字架に架かれるという試練です。私たちの身代わりに、神の怒りと呪いを受けられ、裁かれるという試練です。そしてイエス様は、この試練に「耐えられ」て、私たちを救おうとされたのです。私たちと同じように試練を経験されて、私たちを救おうとされたイエス様は、私たちが試練の真っ只中にいる時に、私たちの「弱さを思いやり」、私たちを「助けてくださる」のです。私たちと共にいて、私たちの苦しみや悲しみを理解し、共に背負ってくださるのです。

私たちの人生には、予期せぬ出来事が起こります。病気や家族の問題、仕事の問題、人間関係の問題など。神様は、私たちに試練を与える時があります。しかし、神様の愛は変わりません。神様は、私たちに耐えられない試練は与えません。出口のない、終わりのない試練は与えません。神様は、私たちを幸せにするため、私たちを強め、成長させるため、私たちがさらなる困難を乗り越える力を与えるために、試練を与えられるのです。私たちの救い主イエス様も、私たちと同じように試練を経験されました。そのイエス様がいつも私たちと共にいて、私たちの弱さを思いやり、私たちを助けてくださいます。

**「神が私たちの味方であるなら、だれが私たちに敵対できるでしょう。私たちすべてのために、ご自分の御子さえも惜しむことなく死に渡された神が、どうして、御子とともにすべてのものを、私たちに恵んでくださらないことがあるのでしょうか」**(ローマ 8:31-32)。

天におられる私たちの父なる神様。

私たちの人生には、予期せぬ出来事がしばしば起こります。私たちは、その出来事の意味が分からずに苦しみます。聖書は、天地を造られた唯一の真の神がおられて、その神様が私たちの人生のすべての出来事を導いていると教えます。そして、神様はしばしば私たちに試練を与えると教えています。その試練の目的は、私たちを強め、成熟させ、幸せにするためです。どうか、私たちが試練の只中にいる時は、決して神様の愛を疑うことがありませんように。私たちと共に、私たちのために十字架の試練を経験されたイエス様を見上げることができますように。

この祈りを私たちの救い主イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。